


女性が喜ぶまちづくりを、  
女子野球とともに。

うれしのし

# 嬉野市 女子野球タウン 構想

／うれしいを、いっしょに。／  
 嬉野市



# はじめに

嬉野市は、スポーツのまちづくりの一環として、これまでたくさん  
の女子アスリートを応援してまいりました。

この度、女子野球日本代表「マドンナジャパン」を統括する全日  
本女子野球連盟が「女子野球タウン構想」を発表したと聞き、ぜひ  
嬉野市と連携して、スポーツの力によるまちづくりを継続、発展さ  
せる起爆剤としたいという想いで、協定締結に向けた嬉野市の構想  
をまとめました。代表合宿を嬉野市に誘致して市民一丸で応援する  
のと同時に、女子選手が嬉野市の特産や名所、活躍する人物、移  
住・定住での市の取り組みを紹介して広く情報発信を行うなど、こ  
れまでの取組をさらに力強く推進していきたいと考えています。

嬉野市の「嬉」を分解すると「女」が「喜」ぶ。日本三大美肌の  
湯を有し、これまでも女子アスリートの応援に力を入れてきた嬉野  
市が、さらにパワーアップして「日本一女性が輝いているまち」を  
目指せるよう、手を携えてもらえればと思います。

女<sup>性</sup>が喜<sup>ぶ</sup>がまちづくりを、  
女子野<sup>球</sup>とともに。

嬉野市長 村上 大祐

むらかみ

だいすけ



# 女子野球タウン構想に向けて

～目指すのは、女性がきらめくまちづくり。～

嬉野市は、温泉を中心とする観光産業や、日本一の品質を誇るうれしの茶、歴史ある焼き物などを中心産業としたまち。

しかし、少子高齢化をはじめとする地方の弱体化は、このまちも例外ではなく、停滞ムードが覆いつつあるのも現状です。

— このままでは、いけない。

嬉野市は、この状況を打破するべく、「嬉野市」の「嬉」の文字は「女」が「喜」ぶと書くこと、「嬉」という文字を使った自治体名は国内に「嬉野市」が唯一であることから、当市が女性を応援しなくてどうする！という気概をもち、まちづくりの中心に「女性がきらめくまちづくり」という軸を据え、まさにきらめく女性を体現されている女子野球の皆さまと一緒にまちの活性化に取り組むたいと考えました。

女性が喜ぶまちづくりを、  
女子**野**球とともに。

# あす 嬉野市女子野球タウン構想で目指す未来

女性が喜ぶまちづくりを、  
女子野球とともに。

## 嬉野市女子野球タウン構想

女子野球の振興、代表合宿の誘致などの女子野球の応援を通じ、地元で奮闘している女性グループとの交流、女子野球選手からのアドバイスを受けながら、市の施策、民間の事業に女性ならではの視点を積極的に取り入れることで、まちを活性化する一連の事業構想。女性が住みやすい、女性に喜ばれる、女性がきらめくまちは、活気にあふれ、みんなが笑顔になるまち。そんなまちをこの女子野球タウン構想で実現させていく。

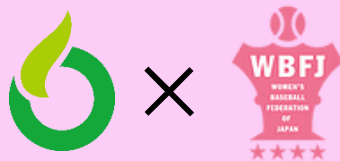
スポーツの  
まちづくり

観光

地場  
産品

etc..

## 嬉野市 女子野球タウン構想



女子野球の応援を通じて、市のあらゆる施策に女性ならではの目線を取り入れたまちづくりを進める。

女性がきらめく  
嬉野市

あらゆる分野で女性がきらめき、住む人、訪れる人みんながいきいきと過ごせるまちを目指す。

# 例えば —

## 嬉野市の課題

- ・人口減による地域活力の低下
- ・1次産業の担い手不足や耕作放棄地の拡大
- ・あり余る地域資源を有しながら決め手を欠く現状

## 農業女子の課題

- ・販路開拓・新商品開発
- ・担い手不足・仲間づくり



女性が喜ぶまちづくりを、  
女子野球とともに。



## 農業女子 × MADONNA Meets JAPAN

市民を巻き込む  
ムーブメントづくり！

1 交流やエール交換の様子を市の広報やCATV、メディアで紹介

- ・交流した農業女子が自信を深め、やりがいにつながる。
- ・地域産物とそのものづくりに込められた思いを知るきっかけになり、ブランドイメージが共有される。
- ・最終的に「こんな嬉野市に住みたい、住んでよかった」というシビックプライド醸成や移住定住のPRに繋がる。

嬉野市は、素材となる地域資源や人材に関する情報提供を行います。

2 マドンナ選手がSNSなどを駆使して情報発信

- ・女子野球ファンが嬉野の特産物や人、地域性に興味をもつきっかけに。

これまでリーチしなかった層への嬉野市のPRが可能に！

3 交流をきっかけにしたコラボ商品や応援商品をつくる

- ・応援コラボ商品を作ることで、嬉野市の納税をきっかけに更なるファン拡大を。

嬉野市のふるさと納税は全国18位、述べ21万人にリーチする巨大メディア。

## 事業成果が課題解決に！

1つの成功例を突破口に様々な地域資源や人をつなげていくことで、どんどん横展開を図っていきます。

# 推進体制

## 市内事業所や女性グループ

行政主導で構想の実現を目指すのではなく、市民が主役となるカタチでの事業推進とするために、プロジェクトチームが行政との橋渡し役を行い、民間の力を最大限に発揮できるムーブメントとしていく。



全日本女子  
野球連盟

連携

連携・協働

柔軟な発想で、大胆に事業を推進するため、全日本女子野球連盟とのワンストップ窓口となるプロジェクトチームを設置し、庁舎全体で構想の実現に向かう体制を整備



嬉野市役所  
女子野球タウン構想  
プロジェクトチーム

市役所内に、女子野球タウン構想の担当課を置かず、構想の実現に意欲ある職員4~5名からなる部・課を横断した事業推進のためのプロジェクトチームを設置。



「女性がきらめくまちづくり」を目指し、市役所女子も積極的に話し合いを行っています。

事業推進

女性が喜ぶまちづくりを、  
女子野球とともに。

## 嬉野市役所

プロジェクトチームを中心に、国・県との協力体制を構築。女子野球タウン構想を市の中心施策と捉え、全ての部・課はもちろん国や県にも協力を仰ぎ、構想の実現のために一丸となって推進していく。

2020

## 嬉野市 女子野球タウン構想 始動

2021

## 女子野球タウン構想であらゆる事業展開を！

女性がきらめくまちを目指し、女子野球の皆さまとコラボした様々な事業でまちを活性化させます。

2022

- ・うれしの女子野球アンバサダー
- ・うれしの女子野球サポーターズ
- ・女子野球日本代表合宿誘致
- ・女子野球目線でのスポーツ施設改修
- ・うれしのウーマンフェスタ

女 性が 喜 ぶまちづくりを、  
女子 野 球とともに。

2023

etc...

2024

## “女性がきらめく嬉野市”の実現

2025

そして大きな夢として…

女子野球の皆さまとともに創り育てた“女性がきらめく 女子野球タウン嬉野市”が

## 女子野球ワールドカップ誘致を目指す！

日本女子野球界が携わって実現した“女性がきらめくまち”でのおもてなしで大会を盛り上げ、海外にもこの構想の成果をアピール！





女 性が 喜 ぶまちづくりを、

女子 野 球とともに。

## 嬉野市女子野球タウン構想 事業展開（案）

- その1 うれしの女子野球アンバサダー
- その2 うれしの女子野球サポーターズ
- その3 女子野球日本代表合宿誘致
- その4 女子野球目線でのスポーツ施設改修
- その5 うれしのウーマンフェスタ





## 嬉野女子野球アンバサダー結成

- ・佐賀県出身の女子野球選手達がアンバサダーとなってPR活動を行う
- ・女子野球とコラボした新商品開発協力、PR協力

うれしの  
女子野球  
Ambassador

女性が喜ぶまちづくりを、  
女子野球とともに。



### 女子野球アンバサダーの活動(案)

- ・嬉野観光PR協力 イベントに選手派遣!
- ・コラボ商品開発制作、販売、PR
- ・コラボ商品のブランド化 etc...

田植え体験 →マドンナ米  
農業体験 →マドンナ茶  
陶芸体験 →マドンナカップ



商品販売  
PR映像  
SNSなどで展開

マドンナジャパンの酪農体験  
おかみ体験  
温泉体験



選手教育の一環  
PR映像  
SNSなどで展開



## 嬉野女子野球サポーターズ (ファンクラブ)

- ・ 嬉野が掲げる女子野球タウン構想にサポーターをつける
- ・ 嬉野市民のみならず、全国から募る
- ・ お礼のグッズはマドンナと嬉野市のコラボで開発
- ・ 開発したグッズはふるさと納税の返礼品としても活用

女性が喜ぶまちづくりを、  
女子**野**球とともに。

グッズを広めることで、女子野球や市の取組をPR!

サポーターグッズの開発



マドンナジャパンの  
マドンナジャパンの  
マドンナジャパンの  
(肥前吉田焼)

勝ち米  
手摘み茶  
一輪挿し



実際選手達が農業体験し、商品開発までを映像で紹介



ふるさと納税の返礼品に活用



地元の特産物と女子野球でコラボレーションした商品をお礼の品として展開



## 女子野球日本代表合宿 in うれしの

マドンナジャパンの合宿を、単なるスポーツ合宿とせず、  
観光イベント、市のお祭りとして盛り上げ、PR！

女性が喜ぶまちづくりを、  
女子野球とともに。

うれしのを女子野球一色に！

がんばる女子と交流を。



合宿期間中、市立図書館等での写真展や球場周辺でのマドンナジャパン  
ミュージアムなどを実施。

マドンナジャパンスペシャル野球教室の開催



うれしので頑張っている  
女性団体とマドンナジャ  
パンとの交流イベントを  
期間中に開催。マドンナ  
ジャパンとの直接交流で  
共感を呼びおこし、  
お互いのサポーターをさ  
らに増やすきっかけに。

市内のカフェが、期間中はベースボールカフェに。



## 女子野球目線での施設改修

野球場などの公共施設の改修に、女子野球選手ならではの目線を取り入れ、誰もが気持ちよく使える施設に。2024佐賀国スポ開催を控える嬉野市の施設改修を、レガシーとして残る素晴らしいリニューアルにしていく。

女性が喜ぶまちづくりを、  
女子野球とともに。



野球場は意外と女子が利用するには不便な事が多い施設。 → 女子目線でリニューアル



トイレやシャワールームは、女性が使いやすいよう個室を設け、広く清潔感ある改修を。



サインやトイレなどにアートを取り入れ明るい雰囲気



嬉野市  
女子野球タウン  
構想



女子野球目線  
の施設改修

将来的には構想で女子野球連盟とともにチャレンジする「女性がきらめくまちづくり」に賛同した企業からのふるさと納税（企業版）の活用も視野に入れ事業展開。



# うれしのウーマンフェスタ

女性が喜ぶまちづくりを、  
女子野球とともに。

## ➤ フェスタとピンクリボンイベントを同時に実施

嬉野市全体をピンク色に。  
市民も観光客もみんなでピンクリボンウォーク  
嬉野ピンクリボンTシャツ制作  
乳がん検査の啓もうと、当日はマンモグラフィー車を配置（医療機関と連携）  
乳がん患者と温泉のプラン構築（既におかみの会で実施中）



## ➤ フェスタのプログラム内に女子スポーツサミット

アスリート、指導者、連盟女性スタッフによるセミナー、分科会など

## ➤ フェスタの目玉！嬉野女子茶会

女性の異業種交流会、ゲストによる講演など  
農業女子、酪農女子、嬉野移住女子など、楽しいトークを展開  
女子スポーツサミットともコラボ  
仕事、ライフスタイル、マネープラン、健康、美、といったテーマ  
茶インストラクター茶淹れ方教室、陶器に触れながらお茶を楽しむ



## ➤ その他さまざまな企画を検討



女性意識向上、嬉野市のインパクト向上！

嬉野市は、女子野球の皆さんといっしょに  
やりたいことがたくさんあります。  
いや、女子野球の皆さんといっしょじゃないと  
夢が達成できないと思っています。

女 性が喜ぶまちづくりを、  
女子野 球とともに。

## 女子野球タウン構想を、ぜひ嬉野市とともに！

うれしいを、いっしょに。

女子野球の皆さんと末永いお付き合いができることを、  
心より熱望いたします。